




# ALGOLIST 操作マニュアル

## 起動/終了方法

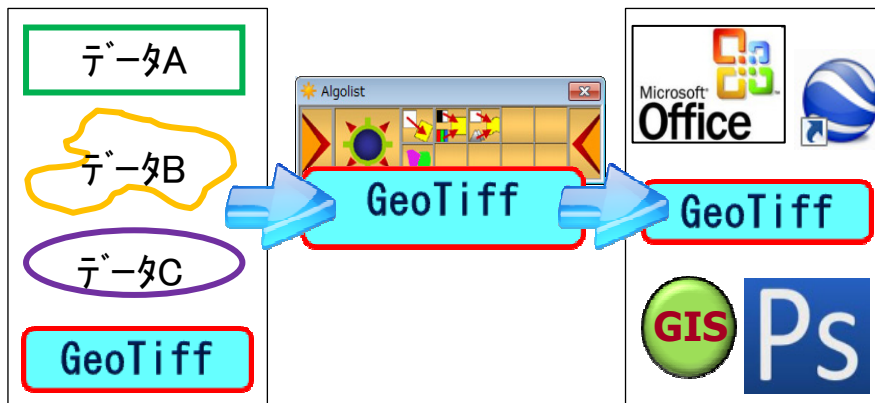
ALGOLISTの起動はデスクトップにある  アイコンをダブルクリックし、閉じるときはメインウィンドウ右上隅の×アイコンをクリックします。最初に現れますウィンドウを「メインウィンドウ」(↓)と呼びます。



バージョン1.0ではこの2つのアイコン以外は利用できません。バージョン2.0になると利用できるようになります。2011年4月頃にお届け予定です。

## 画像データ形式&ベクタデータ形式

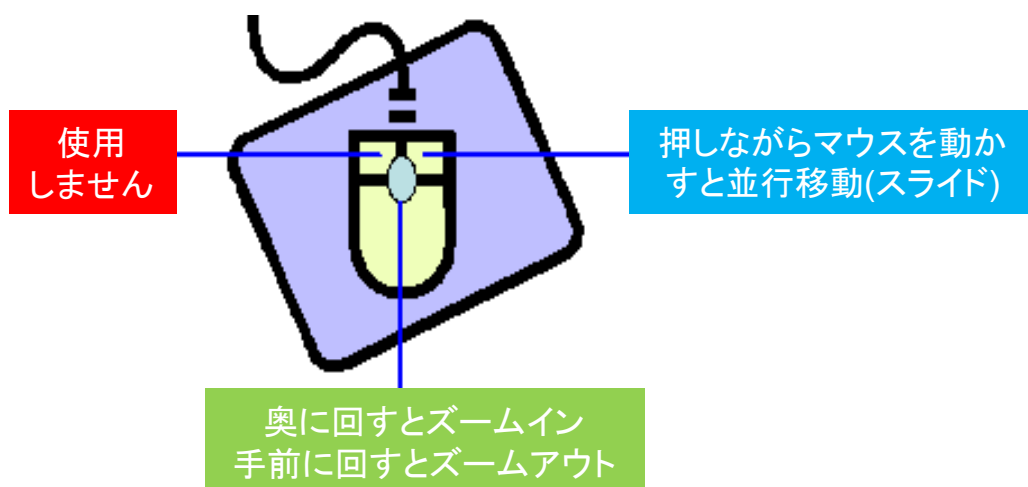
ALGOLISTバージョン1.0では、**TiffまたはGeoTiff形式**のみを扱うことができます。バージョン2.0からはその他の形式を**TiffまたはGeoTiff形式**に変換・一元化して利用します。GeoTiff形式は他のリモセン・GISソフトでも扱うことができ、Tiff形式として一般ソフトでも扱うことができます。よってALGOLISTで解析した結果画像は、そのまま他ソフトでも使用できます。



ベクタデータについては、リモセン・GISソフトで一般的な**Shape形式**をそのまま利用しますので、こちらに変換することなく、そのままリモセン・GISソフトとの連携ができます。

## 表示している画像のズームイン・ズームアウト・スライド

マウスカーソルを表示した画像の上にあててマウスで操作します。



---

## 共通アイコン

全ての操作において共通のアイコンがあります。



GeoTiff、Tiff、Shapeファイルを表示します。



処理を処理を実行します。



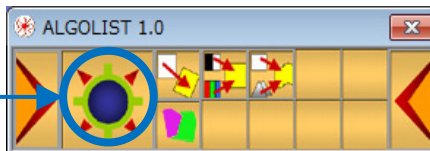
編集・処理結果を保存します。



ウィンドウを閉じます。

## データの表示・編集

クリックしてビューワを立ち上げます。



表示したファイル名と内装バンドを表示

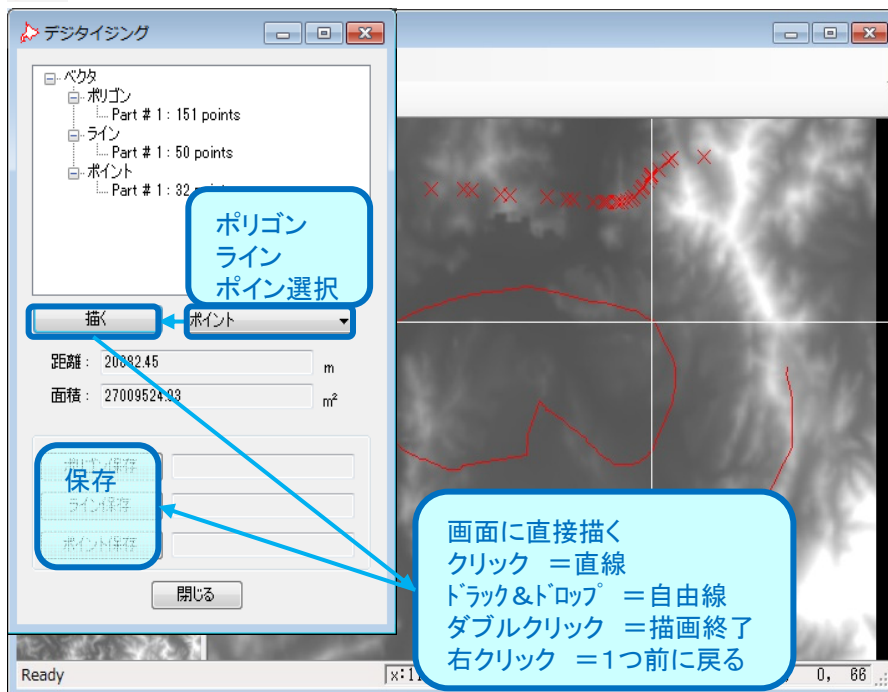


ファイル全体図を表示し、黄色枠が現在拡大表示中のエリアを示します

ここで拡大・縮小・スライド・各編集をおこないます

マウスをあてるとクロスカーソルが移動して、その緯度経度座標とピクセル値が下に表示されます

## : Shapeファイルの描き込み(デジタイジング)



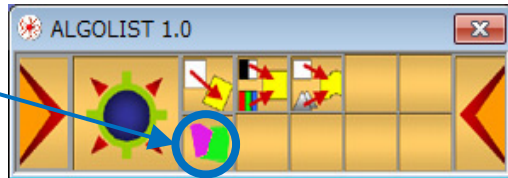
## : GoogleEarthへ転送

現在表示している画像をワンクリックでGoogleEarthに転送し貼り付けます。ただし画像に投影情報が備わっていることと、事前に別途GoogleEarthがインストールされている必要があります。

参考: GoogleEarth無料ダウンロードサイト⇒ <http://www.google.co.jp/intl/ja/earth/index.html>

## 教師無し分類とセグメンテーション

クリックしてウィンドウを立ち上げます。



オブジェクト分類 - [TransformPanel]

ファイル(F)

ParameterBar

入力ファイル: Seatif

簡易設定 | 詳細設定

3種のパラメータを設定してから実行。同じく、基盤の目のボード上でマウス右ドラック&ドロップで赤い印を移動させても、パラメータを変更でき、左クリックで実行することもできます。慣れるとこちらが便利です。

処理後、セグメンテーションをおこない、Shapeファイルに保存します。

色の設定

基本色(B):

処理後、色の変更もできます。

処理結果のピクセル数と面積を表示。

保存データ形式

8ビット/バンドインデックス

24ビット/バンドカラー

処理前に保存形式を設定しておきます。

表示	ID	色	エリア数	面積	結合
<input checked="" type="checkbox"/>	1		250	76922	
<input checked="" type="checkbox"/>	2		943	96327	
<input checked="" type="checkbox"/>	3		910	86881	

色の作成(D) >>

OK キャンセル

Ready

x: 224, y: 259 | lat: 24.5977, lon: 124.3477 | 88, 88, 68 | ID: 1

簡易設定 | 詳細設定

クラス数: 4

教師なし分類法

ISODATA法  K-MEAN法

ISODATA法詳細パラメータ

分割最大標準偏差: 20.0

クラス平均最小距離: 10.0

クラス最小画素数: 10

判定移動画素[%]: 5

Simplify Segmentation: 1

Low Cut: 0

Smoothing Times: 1

タブを「簡易設定」から「詳細設定」に切り替えることで、処理手法などより細かい設定をおこなうことができます。